

通信

あむーる

4月号



編集：八幡成人（やわたしげと）

「チーム八ちゃん」ホームページ：<https://teamhacchan.wordpress.com/>

★松江北高の3年生（理数科）と補習科で教えた森脇友璃子（もりわきゆりこ）さんが、鳥取大学・医学部・医学科のレポートを送ってくれました。私が顧問をしていたESS部の部長さんでした。彼女は現役時代に岡山大学・薬学部に合格しましたが、医者になりたいという「志」が強く、岡山大は蹴って、北高の補習科で浪人生活を送りました。小さい頃お世話になった鳥取大学のお医者さんに憧れて、自分も医者になって子供たちを助けたいという強い想いがありました。念願叶って鳥大・医学部に合格して、米子キャンパスで学んでいます。後輩たちに参考になるレポートをお願いしていたところ、届けてくれました。森脇さん、ありがとう。◆◆

♥《最新大学レポート》♥

鳥取大学
医学部

2回生 森脇友璃子

こんにちは。私は昨春北高補習科を卒業し、鳥取大学・医学部・医学科に入学しました。高校・補習科時には、八幡先生をはじめ北高の先生方には大変お世話になりました。私も、「あむーる」で紹介される先輩方のレポートをいつも楽しみに読んでいました。大学のパンフレットやホームページにはきっと載っていないような、私個人の視点から見た大学生活について詳しく書いてみたいと思います。私の経験談ですので、以下の「鳥取大学」は医学科のみを示しています。ご了承ください。

■学生



鳥取大学の学生は、山陰地方はともかく鳥取県のお隣の兵庫県出身者が多く、学内では米子弁や関西弁が



▲鳥大では茶道部で活躍中

飛び交っています。方言を直す必要はありません。県外出身の人たちのほうが米子弁や出雲弁に慣れてくれます！（笑）北高出身の先輩方も多く、先輩方と地元トークや高校時代の話で盛り上がるのが多々あります。浪人していたころ、現役合格の人とどんな風に関わればいいのかどうかなんてことを考えたこともありました。私の学年では現役も1浪も同数で、2、3、4、5…浪した人、再受験してきた人など様々な人がいます。これは医学科に特有かもしれませんが、「〇〇さんは現役なの？1浪？私もだよー！」といった会話が入学当初によくありました。ですから年齢のことはさして気にする必要はないです。昨年、医学部入試において女子や浪人生が不利益を被っていたというニュースが話題になっ

ていました。鳥取大学の1学年の男女比は大体6対4ですが、男女別の合格率はほぼ同じだそうです。鳥取大学の入試で男女差別や現浪差別を受けられる心配は、たぶんないと思われま



■講義(授業)

1年前期では、数学や物理、化学、生物といった教養科目が中心です。1年前期限定で体育（バスケットボール、卓球、テニス、エアロビクスより選択）もあり、ストレス発散やリフレッシュになります。ちなみに私はエアロビクスを選択しました。案外激しいですが、受験期でなまった体を鍛えるのにちょうどよかったのでおすすめです。そして最も印象的だった授業は、基礎運動器学の骨学実習です。骨学実習では標本やレプリカの骨を使って骨の名称などを学びました。実際に骨に触れながら、骨の部位や向きなどを学ぶことができるので非常にわかりやすかったです。前期の専門科目はこの基礎運動器学のみでしたが、後期からは専門科目が多くなり、難しくなっていきます。ちなみに医学科では、1つでも単位を取れなかったら、すなわち本試験も再試験も不合格になったら進級を認められないので、テストは全部頑張らないといけません。



■「ヒューマン・コミュニケーション」

鳥取大学では、コミュニケーション

教育を行っています。将来、医師として働くうえでコミュニケーション能力は非常に大切です。医師のコミュニケーション能力が不足していると、患者さんや他の医療従事者に不安な思いや不快な思いをさせてしまうことにつながります。また、現場の医師もコミュニケーションを学びたいと感じているそうです。コミュニケーション教育の一環として、1年生ではヒューマン・コミュニケーションⅠ、基礎手話、早期体験ボランティア、コミュニケーション英語という科目が必修です。ヒューマン・コミュニケーションⅠにおいて、座学と保育園実習の二つを通して子どもとの関わり方を学びました。全9回の実習では、自分の担当の子（パートナー）が割り当てられて、そのパートナーさんとふれあいます。小さい子は特に人見知りや激しいので、全力で拒否されます。私も、担当の2歳児の男の子に毎回のよう泣かれてしまいました。パートナーさんが好きなことは何か、どうやったら心を開いてくれるかを考えて実行し、パートナーさんが私に駆け寄ってきてくれるようになったときは本当に嬉しかったです。保育園は教育の場でもあるので、パートナーさんに嫌われたくないという気持ちを抑えて、いけないことはいけないと注意しなければならぬ時もあります。どうしたら注意を聞いてもらえるかを友達と考えると、注意の仕方を工夫するようにしました。このとき、パートナーさんはどんな気持ちなのかを常に考えることが必要です。このように、相手への共感をもとにして様々な人との関わりについて学ぶのが「ヒューマン・コミュニケーション」です。2年生では、高齢者介護施設にて実習を行い、高齢者との関わり方について学びます。

■手話



前述したように、1年前期では基礎手話が必修です。また、1～4年後期の選択科目として医療手話があります。指導して下さるのは、聴覚に障がいのある方々と手話通訳の方です。鳥取県は2015年、聴覚障がい者に対する理解と手話言語の普及を目指す手話言語条例を全国で初めて制定しました。しかしながら手話を使うことができる医師は少なく、診療の場面でうまくコミュニケーションをとることができずに不安になる患者さんは多いと言います。こうした背景を踏まえて、鳥取大学医学部医学科独自の手話教育が始まりました。基礎手話では簡単な日常会話に加えて、聞こえない方々が歩んできた歴史や現状について学びました。私は後期の選択科目で、迷わず医療手話を選びました。なぜなら入学前からこの授業に魅力を感じていましたし、基礎手話を学んだことで、より専門的な医療手話も受けたいと思ったからです。医療手話では、受付・問診・診察・検査・治療・薬局の各場面で用いる手話を習得し、聞こえない患者さんに対して配慮すべき事柄について学びました。手話を覚えるのは、新しい言語を覚えるようで楽しかったです。将来、この経験を必ず役立てたいと思います。



■部活動

医学部の学生の多くは部活に入っています。複数の部活を兼部している学生も多いです。部活に入ることによって学年や学科を超えたつながりができ、勉強に関することなど様々な情報を得ることができます。私は、バドミントン部と茶道部に入っています。新しいことに挑戦したい、好きなことを続けたい、体力をつけておきたい、部活の雰囲気やよさそう…など、いろいろな理由で部活を選びました。ちなみに私の部

活では、テスト期間はオフになるので勉強との両立も可能です。

■悪い点

八幡先生には大学の良い点だけでなく悪い点を紹介するように言われていましたが、残念ながら(?)あまり思いつきませんでした。悪い点は、本学（湖山キャンパス）と医学部（米子キャンパス）がかなり離れていることです。私たちが本学に行くことはほとんどありませんが、入学式は他学部と一緒に鳥取市で行われます。部活の定期戦が行われることもあります。初めて本学に行ったときは、結構遠くて驚きました。そのために他学部との交流が少ないのかもしれませんが、



■最後に

私は浪人して鳥取大学・医学部・医学科に入って本当によかったと思っています。それほど、大学生活に満足しています。たったの1年過ごしたのですが、たくさんの人に出会い、学び、充実した1年でした。医学科の6年間は、長いようで短いとよく先輩方に言われます。大学生のうちにしかできないようなことに挑戦していきたいと思っています。

自分の夢や目標に向かって、今から何事にも一生懸命に取り組んでください。皆さんにも必ず素敵な大学生活が待っているはずですよ。拙い文章でしたが、最後まで読んでいただきありがとうございました。♡♡♡

